

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課
各都道府県私立学校主管部課 御中
附属学校を置く各国公立大学法人事務局

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

「子供のまわりは危険がいっぱい」及び「学生のみなさんへ 薬物のこと
大麻のこと誤解してると危険です！」の配布について

標記啓発読本の配布について、令和6年1月10日付けで、厚生労働省医薬局監視指導・麻薬対策課から別紙1及び別紙2のとおり依頼がありました。

ついては、本啓発読本が厚生労働省から令和6年1月31日までに送付される予定ですので、貴職及び学校の意向や実情を踏まえ、必要に応じて御活用いただきますようお願いいたします。

なお、啓発読本の内容や部数に関することは、厚生労働省医薬局監視指導・麻薬対策課に直接お問い合わせください。

記

1 「子供のまわりは危険がいっぱい」について

厚生労働省から、以下の宛先に対して管下の小学校及び特別支援学校小学部分が送付されます。

- ・各都道府県・指定都市・市区町村教育委員会学校保健主管課
- ・各都道府県私立学校主管部課
- ・附属小学校を置く各国立大学法人事務局

2 「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」について

厚生労働省から、各高等学校及び特別支援学校高等部に直接送付されます。

3 啓発読本の内容や部数に関する問合せ先

厚生労働省 医薬局 監視指導・麻薬対策課 啓発担当係
電話 03-5253-1111（内線 2796）

（本件担当）

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課がん教育推進係
TEL：03-6734-2931（直通）

事務連絡
令和 6 年 1 月 1 0 日文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課 御中厚生労働省医薬局
監視指導・麻薬対策課

「子供のまわりは危険がいっぱい」の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきましては、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

令和 4 年の我が国の薬物情勢は、依然として覚醒剤の検挙者数が薬物事犯全体の約半数を占める一方、大麻の検挙者数が 5,546 人と覚醒剤の検挙者数に迫っており、「大麻乱用期」の渦中にあると言えます。中でも若年層の大麻乱用が顕著で、大麻検挙者の約 7 割は 30 代未満の若年層が占めています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、小学校 6 年生の保護者のための啓発読本「子供のまわりは危険がいっぱい 薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』～子供たちを薬物乱用から守るために～」を作成し、別添送付文書を添付の上、配布することといたしましたので、御承知いただきたく御連絡いたします。

つきましては、お手数ではありますが、各小学校において必要に応じて御活用いただくよう、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課等関係機関への周知方につき特段の御配慮をお願いいたします。

また、啓発読本の送付時期については、各都道府県教育委員会学校保健主管課、各指定都市・市区町村教育委員会学校保健主管課、各都道府県私立学校主管課及び附属小学校を置く各国立大学法人事務局に対して、令和 6 年 1 月 3 1 日までに、それぞれ送付する予定としております。

なお、各都道府県薬務主管課に対しても、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課等関係機関が各小学校へ冊子を配布する場合には、必要に応じて協力するよう依頼しております。

※「令和 6 年能登半島地震」の被災地域への当該読本の送付については、状況を考慮し、個別に調整させていただきます。

担 当	
厚生労働省	
医薬局監視指導・麻薬対策課	啓発担当 北原
電話	03-5253-1111(内線2796)
(夜間	03-3595-2436)
F A X	03-3501-0034
M a i l	kitahara-yukimi.j04@mhlw.go.jp

事 務 連 絡
令 和 6 年 1 月 吉 日

各都道府県教育委員会学校保健主管課
各都道府県私立学校主管部課
附属小学校を置く各国立大学法人事務局

御中

厚生労働省医薬局
監視指導・麻薬対策課

「子供のまわりは危険がいっぱい」の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきましては、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

令和4年の我が国の薬物情勢は、依然として覚醒剤の検挙者数が薬物事犯全体の約半数を占める一方、大麻の検挙者数が5,546人と覚醒剤の検挙者数に迫っており、「大麻乱用期」の渦中にあると言えます。中でも若年層の大麻乱用が顕著で、大麻検挙者の約7割は30代未満の若年層が占めています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、今般、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、小学校及び特別支援学校小学部6年生の保護者のための啓発読本「子供のまわりは危険がいっぱい 薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』～子供たちを薬物乱用から守るために～」を作成いたしました。

つきましては、本趣旨を御了察の上、お手数ではありますが、当省より管下の小学校及び特別支援学校小学部の児童数に相当する冊数を、各学校ごとに梱包し、送付先ラベルを貼付した上で、送付いたしますので、必要に応じて各都道府県薬務主管課の協力を得て、本冊子を管下の小学校及び特別支援学校小学部に御配布いただき、本年度の小学校及び特別支援学校小学部6年生の各家庭において有効に活用されますよう特段の御配慮をお願いいたします。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

※「令和6年度能登半島地震」の被災地域への当該読本の送付については、状況を考慮し、個別に調整させていただきます。

連 絡 先

厚生労働省

医薬局監視指導・麻薬対策課 啓発担当 北原

電話 03-3595-2436 (直通) F A X 03-3501-0034

M a i l kitahara-yukimi.j04@mhlw.go.jp

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAX又はメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、不足の際には、依頼状に希望部数及び送付先、連絡先の記載をお願いいたします。

事 務 連 絡
令 和 6 年 1 月 吉 日

各指定都市・市区町村教育委員会学校保健主管課 御中

厚生労働省医薬局
監視指導・麻薬対策課

「子供のまわりは危険がいっぱい」の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきましては、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

令和4年の我が国の薬物情勢は、依然として覚醒剤の検挙者数が薬物事犯全体の約半数を占める一方、大麻の検挙者数が5,546人と覚醒剤の検挙者数に迫っており、「大麻乱用期」の渦中にあると言えます。中でも若年層の大麻乱用が顕著で、大麻検挙者の約7割は30代未満の若年層が占めています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、小学校及び特別支援学校小学部6年生の保護者のための啓発読本「子供のまわりは危険がいっぱい 薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』～子供たちを薬物乱用から守るために～」を作成いたしました。

つきましては、本趣旨を御了察の上、お手数ではありますが、当省より管下の小学校及び特別支援学校小学部の児童数に相当する冊数を、各学校ごとに梱包し、送付先ラベルを貼付した上で、送付いたしますので、本冊子を管下の小学校及び特別支援学校小学部に御配布いただき、本年度の小学校及び特別支援学校小学部6年生の各家庭において有効に活用されますよう特段の御配慮をお願いいたします。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

※「令和6年能登半島地震」の被災地域への当該読本の送付については、状況を考慮し、個別に調整させていただきます。

連 絡 先

厚生労働省

医薬局監視指導・麻薬対策課

啓発担当 北原

電話 03-3595-2436 (直通) F A X 03-3501-0034

M a i l kitahara-yukimi.j04@mhlw.go.jp

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAX又はメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、不足の際には、依頼状に希望部数及び送付先、連絡先の記載をお願いいたします。

事 務 連 絡
令 和 6 年 1 月 吉 日

各小学校及び特別支援学校小学部 御中

厚生労働省医薬局
監視指導・麻薬対策課

「子供のまわりは危険がいっぱい」の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきましては、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

令和4年の我が国の薬物情勢は、依然として覚醒剤の検挙者数が薬物事犯全体の約半数を占める一方、大麻の検挙者数が5,546人と覚醒剤の検挙者数に迫っており、「大麻乱用期」の渦中にあると言えます。中でも若年層の大麻乱用が顕著で、大麻検挙者の約7割は30代未満の若年層が占めています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、小学校及び特別支援学校小学部6年生の保護者のための啓発読本「子供のまわりは危険がいっぱい 薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』～子供たちを薬物乱用から守るために～」を作成いたしました。

つきましては、本趣旨を御了察の上、お手数ではありますが、必要に応じて本冊子を貴校の本年度の6年生の保護者に御配布いただき、各家庭において有効に活用されますよう特段の御配慮をお願いいたします。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

※「令和6年能登半島地震」の被災地域への当該読本の送付については、状況を考慮し、個別に調整させていただきます。

連 絡 先
厚生労働省
医薬局監視指導・麻薬対策課 啓発担当 北原
電話 03-3595-2436 (直通)
F A X 03-3501-0034
M a i l kitahara-yukimi.j04@mhlw.go.jp

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAX又はメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。
なお、不足の際には、依頼状に希望部数及び送付先、連絡先の記載をお願いいたします。

事 務 連 絡
令和 6 年 1 月 1 0 日

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課 御中

厚生労働省医薬局
監視指導・麻薬対策課

「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」
の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきまして、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

令和 4 年の我が国の薬物情勢は、依然として覚醒剤の検挙者数が薬物事犯全体の約半数を占める一方、大麻の検挙者数が 5,546 人と覚醒剤の検挙者数に迫っており、「大麻乱用期」の渦中にあると言えます。中でも若年層の大麻乱用が顕著で、大麻検挙者の約 7 割は 30 代未満の若年層が占めています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者のための啓発読本「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」を作成し、別添送付文書を添付の上、配布することといたしましたので、御承知いただきたく御連絡いたします。

つきましては、お手数ではありますが、各高等学校及び特別支援学校高等部において、必要に応じて御活用いただくよう、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課等関係機関への周知方につき特段の御配慮をお願いいたします。

なお、啓発読本の送付時期については、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課、各都道府県私立学校主管部課、附属高等学校を置く各国公立大学法人事務局、各高等学校及び特別支援学校高等部に対して、令和 6 年 1 月 31 日までに、それぞれ送付する予定としております。

※「令和 6 年能登半島地震」の被災地域への当該読本の送付については、状況を考慮し、個別に調整させていただきます。

担 当
厚生労働省
医薬局監視指導・麻薬対策課 啓発担当 北原
電話 03-5253-1111(内線2796)
(夜間 03-3595-2436)
F A X 03-3501-0034
M a i l kitahara-yukimi.j04@mhlw.go.jp

事 務 連 絡
令 和 6 年 1 月 吉 日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課
各都道府県私立学校主管部課
附属高等学校を置く各国公立大学法人事務局

御中

厚生労働省医薬局
監視指導・麻薬対策課

「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと 誤解してると危険です！」
の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきまして、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

令和4年の我が国の薬物情勢は、依然として覚醒剤の検挙者数が薬物事犯全体の約半数を占める一方、大麻の検挙者数が5,546人と覚醒剤の検挙者数に迫っており、「大麻乱用期」の渦中にあると言えます。中でも若年層の大麻乱用が顕著で、大麻検挙者の約7割は30代未満の若年層が占めています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、今般、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者のための啓発読本「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」を作成いたしました。

つきましては、当課より各高等学校及び特別支援学校高等部に対して、令和6年1月31日までに啓発読本を送付し、必要に応じて卒業予定者に配布していただくよう依頼いたしますので、貴職におかれましては本趣旨を御了察の上、管下の各高等学校及び特別支援学校高等部への周知方につき特段の御配慮をお願いいたします。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

※「令和6年能登半島地震」の被災地域への当該読本の送付については、状況を考慮し、個別に調整させていただきます。

連 絡 先

厚生労働省

医薬局監視指導・麻薬対策課 啓発担当 北原

電話 03-3595-2436 (直通) FAX 03-3501-0034

M a i l kitahara-yukimi.j04@mhlw.go.jp

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAX又はメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、不足の際には、依頼状に希望部数及び送付先、連絡先の記載をお願いいたします。

事 務 連 絡
令 和 6 年 1 月 吉 日

各高等学校及び特別支援学校高等部 御中

厚生労働省医薬局
監視指導・麻薬対策課

「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」
の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきまして、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

令和4年の我が国の薬物情勢は、依然として覚醒剤の検挙者数が薬物事犯全体の約半数を占める一方、大麻の検挙者数が5,546人と覚醒剤の検挙者数に迫っており、「大麻乱用期」の渦中にあると言えます。中でも若年層の大麻乱用が顕著で、大麻検挙者の約7割は30代未満の若年層が占めています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者のための啓発読本「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」を作成いたしました。

つきましては、本趣旨を御了察の上、お手数ではありますが、必要に応じて貴校の卒業予定者に御配布いただき、啓発読本として御活用いただければ幸いに存じます。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

※「令和6年能登半島地震」の被災地域への当該読本の送付については、状況を考慮し、個別に調整させていただきます。

連 絡 先
厚生労働省
医薬局監視指導・麻薬対策課 啓発担当 北原
電話 03-3595-2436 (直通)
F A X 03-3501-0034
M a i l kitahara-yukimi.j04@mhlw.go.jp

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAX又はメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。
なお、不足の際には、依頼状に希望部数及び送付先、連絡先の記載をお願いいたします。